

あ、おはよー小田【おだ】くーん。  
何々？ 今日は来るの早いねー。  
いつもはもっと時間ギリギリなのに、珍しい。  
今日って何かあったっけ？ 日直とかだった？  
ん？ 何、スマホ？  
あっ、もしかしてまた何か、面白い画像とか見つけてくれた？  
あははっ、じゃあまさか今日はそのために？  
そんな、わざわざいいのに一。ふふ、でも嬉しい。  
小田君ネットとか詳しいもんね。  
たまにそうやってネットで見つけた画像とか動画見せてくれるの、私結構楽しみにしてるんだー。  
ふふふ、ありがとー。  
で、どれどれ？ 早く見せて見せてー。  
ん……えーと、何、これ？  
変な模様がぐるぐるしてるけど。  
んー？ 催眠……アプ、リ……？

んっ……。え、う……。あ……。えう。  
……。あれ？ えっと私、何やってたんだっけ。  
ん？ あっ、小田く〜ん♪  
ごめんごめん、ぼーっとしちゃってた。  
ん、あれ？ どうしたの？  
寂しそうな顔しちゃって。  
ふふふ、もしかして、もうお腹空いちゃった？  
えー？ まだ学校着いたばかりだよ？  
朝ご飯、きちんと食べてこなかったの？ もう、ダメじゃーん♪  
ふふ、仕方ないなー。  
いいよ♪ それじゃあちょっと早いけどー……。おっぱいの時間にしようか？  
ふふふっ、うんうん。  
遠慮しなくていいんだよ？  
だって君は一、私の大事な赤ちゃんだもん。  
ママとして、赤ちゃんがお腹空かせてたらおっぱいあげるのは当然だからねー♪  
だから君は何も気にしないで、私に我儘言って、甘えてくれていいんだよー♪  
そうやってママに甘えるのが、赤ちゃんの大事なお仕事なんだから。ふふふっ。  
ちょっと待っててね、すぐにおっぱい吸えるように制服、はだけさせちゃうから。  
ん、んしょ。  
ん……。ママ、今日はあんまり君が好きな感じの下着じゃないんだー。  
ほんとは君が喜ぶ、もうちょっと可愛い感じのヤツ着けてきたかったんだけどなー。  
ん……。ふふ、ごめんね？  
すぐに外しちゃうから、いい子で待っててねー。  
ん……。ふふふっ、ん……。よし、と。  
は一い、お待たせ。ほら、おっぱいだよー？  
どうかな？  
そんなにおっきくないから、君のお腹、いっぱいにはできないかもしれないけど。  
ん……。ふふふ、乳首、ピンクでえっちいって、もーう。  
折角おっぱいあげようとしてるのに、そういう変な事言う子はお預けにするよ？

ん.....くすっ、なーんて♪  
ママのおっぱいのこと、一生懸命褒めようとしてくれたんだもんね？  
大丈夫大丈夫。君の優しい気持ち、ちゃーんと私には伝わってるよ♪  
ありがとう♪  
ふふふ、じゃ。そろそろこっちおいでー？  
ミルク、たーくさん飲ませてあげるからさ？  
ん.....ふふふ、ギュー♪ よしよし♪ いい子、いい子だねー♪  
うん、それじゃこのまま、ママのお膝に頭、載せられるかな？  
そしたらおっぱい、飲みやすいように私がお口まで持って行ってあげるからさ？  
はい、ほらどうぞー？  
落ち着いて、ゆっくりでいいからねー？  
そうそう。は〜い、上手♪  
ん、どう？  
首、キツかったりしない？  
ママの太もも、寝心地いいかな？  
そっかそっか。良かったー♪  
ふふふ、それじゃあ君も、もう待ちきれませんって感じだし、早速おっぱい、飲んでいっ  
ちやおっか？  
うん♪  
んしょ。えーっと、乳首、お口の所にちゃんと来てる？  
ふふ、よし。じゃあこのまま、乳首ぱくってして、優しくちゅっちゅってしていこうねー？  
さ、どうぞー？  
  
.....んっ♪  
ふふふ、どうかな？  
美味しい？ ママのおっぱい♪  
そっかそっか。  
うんうん、大丈夫。君の方も、すごく上手におっぱい、吸えてるよ♪  
優しく舌を絡ませながら、口をすぼめて、ちゅーちゅーって♪  
んっ、ふふふ。  
私のおっぱい、痛くならないように大事にしてくれてるんだなーって分かるから、こっちま  
で嬉しくなっちゃう♪  
まだ吸いたてだからあんまり勢いはないかもしれないけど、すぐっぱい出てくるようにな  
るから、この調子でね？  
ちゃんと君が満足してくれるまで、このままにいるからさ？  
ふふふふっ♪  
@@@@@吐息15秒@@@@@  
んー？ ふふふっ、どうかした？  
ふえ？ ママ、エッチな声出てるって？  
くすっ、もうそういうこと言わないのー♪  
仕方ないでしょ、んっ.....君のお口の中あったかくて、んっ、舌で先っぽコロコロされた  
ら、んんっ、どうしても少しは声、漏れちゃうよ。  
んんっ、君が吸うの上手なだけで、ママは悪くないですー♪  
ふふふっ、んっ。  
ほら、今度はこっちの、反対側のおっぱいさんも、ちゅーちゅーして一っって言ってるよ？  
優しい良い子な赤ちゃんは、こういう時、どうするのかなー？

ふふ、どうかなー、分かるかなー？

ん……んんっ♪

ふふふっ、はい正解♪

こっちのおっぱいさんも同じように、優しくちゅっちゅってミルク、吸ってあげるんだよねー♪

んふっ、片方ばかり吸ってたら、ママ、おっぱい張っちゃって苦しいから、そうしてくれると、んっ、すっごく助かるよ♪

んっ、あんっ、でもママ、こっちはちょっと敏感だから……んっ、うるさくしちゃったら、ごめんね？

んっ、はうっ、んっ……っってもう、こーら。

言ったそばからあんまり意地悪しないの。

んっ、そうやって強く吸われたら、んんっ、変な声、ん、出ちゃうでしょ？

んんっ、ふ、ん……興奮するようなこと言うママが悪いって、もうー。

赤ちゃんのくせに、そんなことばかり言って。

恥ずかしいよ？ そんなんじゃ。

ふふふっ、んんっ、ふ、ほらもう、あんまりエッチなことばかり言ってないで、んんっ……もっといっぱい吸って？ ママのおっぱい。

折角君のために、んっ、あ……ミルク、こうやって出してるんだからさ？ ふふっ。

@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@

んっ、ふっ……っって、あっ♪

さっきからママのことエッチエッチ言って、んっ、君もおちんちん、おっきくなっちゃってるじゃーん？

んんっ、ふっ、ズボンの所、すごーく膨らんじゃってるよー？

んっ、ふ……ママのおっぱい吸って、そんなにしちゃったんだ？

あはっ、いけないんだー。

ママ、そんなエッチな子に育てた覚えはないんだけどなー。残念。

ん……ふふふふっ。

もうー、冗談だよー。

いいよ、そんな真剣に受け取らなくても。

大丈夫大丈夫。君がママのこと大好きだから、自然とそういう風になっちゃうってこと、ちゃんと分かってるからさ♪

君があんまりにも可愛いから、ちょっとからかいたくなっちゃっただけ。

ふふ、ごめんね。

恥ずかしい思いさせちゃって。

んっ……あん、もうー、許してくれないの？

んんっ、んっ……分かったよー♪

それじゃあ君のそんなになっちゃったおちんちん、ママがしこしこして、元に戻してあげよう。

ね、そしたら機嫌、直してくれるでしょ？

ふふふっ。うん、ママがおちんちんに溜まっちゃってる悪い精液、ぴゅっぴゅってやつつけてあげるから。

そしたらおちんちんも、苦しくなくなるでしょ。

だから……ね？ それで許してくれる？

ふふふっ、ありがとう♪

やっぱり君は、ママ思いの優しい子だね♪

んっ……それじゃ早速おちんちん、お洋服から外に出そっか？

制服、汚しちゃったら大変だし、君も早くおちんちん楽にしたいもんね？  
ん……あっ、私がやるから、君はそのまま、おっぱい吸いながらリラックスしてていいよー？  
んっ……そうそう♪  
ぜーんぶママに任せておいて♪  
んしょ……ん、じゃあちょっとごめんね？  
ズボン、脱がしちゃうよ？  
んっ……んしょ、んっ……。  
んっ……ふ、はい、ちょっと腰上げてねー？  
んっ……しょ。  
んっ……ふふ、どう？ 寒くない？  
ふふふ、よしよし。我慢できる、強い子だねー？  
いい子いい子♪  
あっ……ん、今こっちのおちんちんも、なでなでして気持ちよくして行ってあげるからねー♪  
ふふっ……ん、それじゃあおちんちん、このままお手々で扱っていくけど。  
んっ、ふ……しこしこして痛くなっちゃうといけないから、まずはママのよだれ、垂らしていくねー？  
ふふふっ、大丈夫♪  
ちゃんと普段からママ、お口の中綺麗にしてるから、汚くないよ？  
ふふっ、うん、そうなの♪  
私の彼氏、キス大好き人間だから、いつねだられても……大丈夫なように……ん……て、あ、れ……？

彼、氏……。  
あれ……うん、私、彼氏いる、よね？  
ん……なのにこんなことして……あれ、えっ……なんで、う、あ。  
う……。  
……ふあっ！？  
えっ、あれ！？ なんで私、教室で胸出して……んっ、っていうか小田くん！？  
ふえ、なんで吸って……！？ というか、なんで出て……んっ、あんっ、あっ、ちょ……やめ……。  
落ち着いてっ、んっ、ね？ 私、そんなつもりじゃ……んっ、あ。  
なんで……身体、動かなっ……んんっ、ん。

んっ……あうっ、えっ、あ……うあ……。  
んっ……。  
あっ、ごめーん♪  
ママ、またちょっとボーッとしちゃってたね♪  
ごめんね、おちんちん、ほっとかれて寂しかったよね？  
ふふふ、待ってて？ すぐに楽にしてあげるから♪  
ん、それじゃママのよだれでおちんちん、ぬるぬる滑るようにしていきまーす♪  
ふふ、ダメ♪  
ちゃんとやらないと、おちんちんケガして痛い痛いつてなっちゃったら大変でしょ？  
だからほら。  
すぐに済ませちゃうから、大人しくしててねー？

ん.....。

ん、れろ。んっ、んふ。

んー.....。れえー.....ん、んー.....。

んー.....うん。この位でいいかなー？

ふふ、はい。

おちんちん、ぬるぬるになっちゃったねー？

それになんだか、さっきよりも元気になってるみたい♪

なんだかんだ言ってママのよだれ、あったかくて気持ちよかったんだ♪

ふふふっ、いいよー？

それじゃあこれからおちんちん扱いて、もーっと気持ちよくしてあげちゃうから。

うん、このままお膝で寝転んでて大丈夫だから、らくーにしててね？

まだ飲みたりなかったら、おっぱいも吸ってていいからさ♪

んっ.....うん、そうそう♪

は、んっ.....そうやってリラックスしててねー？

んん.....はい、それじゃあこっちもおちんちん、シコシコしていくよー？

大丈夫だよー、怖くないから、安心しててねー？

んっ.....。

どうかな、痛かったりとか、しない？

そっかそっか。

ん、ふ。それじゃあまずは、このくらいゆっくり目に、よだれ、おちんちん全体に馴染ませていく感じで、ん.....いくからね？

んんっ、ふふふ♪

@@@@@吐息15秒@@@@@

んっ、どう？ 気持ちいい？

ふふふっ、うん、そうだよね？

おちんちん、握った時から手の中でどくん、どくんって脈打ってるもん♪

すっごく熱くなってるし、君が喜んでくれてるの、いっぱい伝わってくるよ♪

ふふ、んんっ.....♪ うん、ママの方も、ちゃんと気持ちいいよ.....♪

んあっ、おっぱい、あげてるだけなのに.....ん、こんな、気持ちよくなっちゃったらいけないんだけど。

ん、ふ。君が一生懸命飲んでくれるから、んっ.....おっぱいも嬉しくなっちゃったのかな.....♪

お口でちゅぱちゅぱされる度に、んんっ、乳首、じんってなっちゃう♪

ふふ、こんなエッチなママでごめんね.....♪

んんっ.....さーて、敏感な先っぽの方にもよだれ、塗り塗りしていくよー？

ちょっと刺激が強いかもだけど、ちゃんと我慢できるかなー？

ん.....。

あっ、あはは。

くすぐったい？

先っぽに指かけた瞬間、ぴくぴくってしちゃってるよ？

ふふ、ごめんねー。

すぐ済ませちゃうから、もうちょっとだけ我慢できる？

うん。君は強い子だから、大丈夫だよね♪

はい、ここの辺りをやっちゃえば、もう終わりだからねー.....。

ん、しょ.....ん.....ぬり、ぬり.....ぬり、っと。

ふふふ、はい終わり♪  
うんうん、ちゃんとじっとできてたね♪  
よしよし。偉いぞー、カッコいいぞー♪  
ふふふっ♪  
それじゃあここからは、おちんちん、本格的に扱っていったらいいかな？  
んっ……ふふ、スピードもちょっと上げちゃうよ？  
ほーら。  
んっ、この位で、どうかな？  
おちんちん、ちゃんと気持ちいい？  
そっかそっか。  
んっ、あ……このまま続けていくから、悪い精液さん、全部出していいかな？  
んっ……うん、勿論♪ おっぱいにも、そのまま甘えてもいいよ♪  
ふふふっ。  
@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@  
んっ……ふふ、夢中で吸っちゃってるねー。  
ほんと、甘えん坊さん♪  
あははっ、いいよー。いっぱい飲んで、おっきくなろうねー？  
んっ……って、どうかした？  
ん？ ああ、おっぱい、あんまり出なくなってきちゃった？  
ごめんね。ママ、おっぱい小さいから。  
君も結構飲んだし、少なくなってきてるのかも。  
んっ……どう？ まだ、飲み足りない？  
んー……そうだよな。  
君、育ち盛りだもん。  
まだまだお腹空いてるよね？  
んっ、それにおちんちんも、まだぴゅっぴゅってするまでは、時間かかりそうだし。  
ん……それじゃあ、君さえ良ければなんだけど。  
おっぱい、お手々で搾りながら飲んでみる？  
ふふ、うんそう。  
指で乳首つまんでぎゅっぎゅって。  
ほんとに私がやってあげられればいいんだけど、手、今はおちんちんで塞がっちゃってるからさ。  
君に動いて貰わないとダメだけど、それならおっぱい、ちょっとは出やすくなると思うし。  
ふふふっ、どうかな。やってみる？  
うん、分かった♪  
んっ……それじゃあそう、優しく乳首に指を掛けてー……。  
ん……うん。そのままきゅってしながら、おっぱい吸ってー？  
……んっ、あん。そ、上手♪  
んんっ、ん、どうかな？ んふ、これなら、もうちょっとはおっぱい、飲めそ？  
んっ、ふふふ♪ 良かった♪  
あっ、ん……うん、大丈夫。  
ちょっと刺激強いから、んっ、恥ずかしい声、出ちゃうけど。  
ママ、君のためなら頑張れるよ♪ んんっ、あっ……ふふふ♪  
だから……んっ、遠慮せずに、おっぱい搾っちゃって。  
んっ……あんっ、ん。  
ふふふ、そうそう♪

ん、はあ……とっても上手に、搾れてるよ♪  
@@@@@吐息15秒@@@@@  
んんっ。おちんちんも、張り詰めてきてたね？  
段々精液、出そうになってきた？  
ふふふ、うん。  
出そうになったら言ってね？  
ちゃんと最後までママに、任せてくれればいいからさ。  
んっ……あ、ふ……んんっ。ふふふっ。  
@@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@@  
あっ、そろそろイっちゃいそうかな？  
んっ、あふ、ん……。  
んふっ、ふふふ。隠してもダメ♪  
君のおちんちんのことはママ、ぜーんぶお見通しなんだから♪  
ん……ほら、その証拠に……んんっ。  
おちんちん、さっきからビクビクが激しくなってるし……。  
あっ……んんっ、それに先っぽから、ママのよだれとは別のぬるぬるしたの、だらーって垂れてきてるよ？  
ふふふっ、それにお腹の方も、これだけ飲めば流石に、いっぱいになってきたでしょ？  
だから……ね？  
あっ、んふ……遠慮しないで精子、びゅくびゅくしちゃっていいんだよ？  
またして欲しくなったら、いつでもママに言ってくれればいいからさ。  
我慢なんてしないで精子、いーっぱい出しちゃおう？  
んんっ……ふふふふっ。  
うん。男の子は素直なのが一番だねー♪  
分かった。  
それじゃ、出しやすいように……ほら。  
もうちょっと早めにしてあげる♪  
んあっ、ん……どうかな？ これなら気持ちよくイケそ？  
んんっ、ふふふ。分かった。  
じゃあこのままシコシコしててあげるから、悪ーい精液さん、ぜーんぶ出しちゃおうねー♪  
んんっ、ふふふ。いつでも、君の好きなタイミングでイっちゃっていいから。  
ママの手の中で、びゅくびゅくーってしちゃおう♪  
んんっ……。あっ、ん……はあ。  
うん、おっぱいも……最後までちゅぱちゅぱしてていいよ。  
はあ、ん……もうお腹たぶたぶしちゃってるのに、君……んんっ。  
ずっとお口離したくないくらい、おっぱい大好きみたいだから。  
ふふふっ、んんっ……うん。  
ママも気持ちいいよ♪  
君にずっとおっぱい可愛がられて、んあっ、乳首、すっごく固くなっちゃってる……♪  
んっ……うん、このまま一緒に、気持ちよくなる？  
んんっ、ふふふ♪  
あ、んんっ……ふ、ん……どう？ そろそろ、出ちゃう？  
んんっ、はあ、はい。  
それじゃあこのまま、ママのお手々の中に出しちゃおうね。  
ふふふ、気にしないでいいから、君の精子で私の手、思いっきり汚しちゃおう。  
んんっ、大丈夫。

ちゃんとぜーんぶ受け止めてあげるよ♪  
ふふふっ。  
んんっ、はあ、もう出るね？ イっちゃうね？  
んんっ……いいよ。それじゃあ出しやすいようにママが、数数えてあげるから……んっ。  
それで気持ちよく精子、びゅーびゅーしちゃおうね♪  
んっ、はう……ん。  
うん、それじゃあ、いくよ？  
5……4……3……2……いーち……。

んんっ……あっ、ふふふ。  
出たねー？  
わーすご。精子、ぴゅく、ぴゅく、ぴゅくーって、すごい勢いで出ちゃってるよー？  
んっ……脈打つ度にあったかいのが、私の手に掛かっている♪  
ふふふ、大丈夫だよー。  
ちゃんと最後の一滴が出る所まで、ママが見ててあげるから、安心して♪  
ん……はい。  
これでちゃんと全部、出せたかな？  
ふふふ、はいお疲れ様ー♪  
どうだった、ママのお手々。ちゃんと気持ちよく出せたかな？  
そっかそっか♪ 良かったー。  
あ、ほら見て、手ェドロドロー♪  
君のおちんちん、とっても強い、いい子だったから、こーんなに沢山精子、出せたんだね♪  
ふふ、それにほら。  
ママのおっぱい、君の唇の形、くっきり残っちゃってる♪  
うんうん、自分の物にきちんとキスマーク付けられて、偉い、偉いだねー♪  
ふふふふっ。  
うん、それじゃあ最後にお片付け、していこっか。  
おちんちんも、ママのよだれと精子でぐしょぐしょだし。  
このままほっといて、君が風邪でも引いちゃったら大変だもんね。  
ふふ、はいそれじゃあ、んしょっ……ちょっと待っててねー。  
ママがティッシュで、汚れたおちんちん、ぜーんぶ綺麗にしちゃうからねー。  
んっ……しょっと。  
はい、拭いてくよー？  
んしょ。  
拭き、拭き……拭きっと……♪  
いーっぱい出せて、偉かったねー♪ ふふふっ。  
ん……はい、綺麗になりましたー♪  
ふふふ、どう？ 拭き残しで、気持ち悪かったりしない？  
うんうん、それじゃあズボン、履かせちゃうねー？  
はい。んしょっ……ちょっと腰、上げてくださーい？  
ん……よし、と。  
はい、お疲れ様でした、私の赤ちゃん♪  
どうだった？ お腹いっぱいになって、おちんちんもスッキリ出来たかな？  
そっかそっか♪  
良かったねー。  
ん……あ、もう。お礼なんていいのいいの。



赤ちゃんのお世話をしてあげるのは、ママとして当たり前のことだもん。  
そんな他人行儀にされちゃうとママ、逆に悲しくなっちゃうよ♪  
だから君は……って、あれ？  
どうしたの、スマホ、急に取り出しちゃって。  
うん？ 何、この画面見ればいいのか？  
んー？  
ん！？ あ、う……。あ……。

わー、可愛いー、この猫ちゃん。  
あは、飼い主さんにずーっとスリスリして、甘えてるんだー。  
わー……いいなー……。  
ふふ、小田くん、すっごくいいね、この動画。  
うん、個人的に今までの中で一番かも。  
私、子猫とか赤ちゃんとか、そういうちっちゃーい、可愛いのに弱いんだー。  
ふふふっ。  
うん、そうなんだよー。  
あ、ねね、こういうの、他にも見れたりするの？  
嘘、こんなにいっぱいあるの？  
すごーい。  
あっ、じゃあ次は、これとか見てみたいなー……って、あれ！？ えっ、もうこんな時間？  
うわすごっ、ちょっと動画一本見てるだけのつもりだったのに、あっという間だねー。  
ん、ていうか、アレ？  
この動画が10分くらいだから、なんか明らかに時間が合わないような……。  
んー……？  
まあいいや。  
そろそろホームルーム始まるし。  
それじゃ小田くん、私、もう席戻るね。  
うん、また良いのがあったら見せてね。  
ふふっ、約束だよー？  
うん、それじゃ、またねー。バイバーイ。